



## 「まさか」から「いやさか」の年へ

「写真の町」東川町長 松岡 市郎

皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年、自然界も人間界もさまざまな予期せぬことが起きました。私たちは良いこと、悪いことを含めて「まさか」と表現しています。

自然界では、4月に熊本県などで地震が発生し、8月には台風が北海道を直撃。集中豪雨で河川決壊などの災害が発生し、「まさか」の被害となりました。早い復興を願いたいと思います。人間界では、イギリスのEU離脱に始まり、米国の

大統領選挙、韓国の大統領を取り巻く疑惑…など、予想をしながら「まさか」の事態といわれました。国内に目を向けてみますと、スポーツでは大相撲で久しぶりに大関力士が優勝し、野球では日本ハムが日本一に輝きました。「日本ハムが日本一と予想していた」という大ファンもいるかも知れませんが、いずれも努力の成果が「まさか」に繋がったものと思います。

東川町での良い意味での「まさか」が今年実現しそ

うです。過去20数年の実績を踏まえて、昨年から写真甲子園の映画化に着手し、映画を通じて東川町全体の素晴らしさを全国や海外へ向かって発信する計画がスタートしています。

主題歌は菅原浩志監督の熱い説得もあって、同じ札幌出身の大黒摩季さんに決まりました。今年、大黒さんは歌手生活25周年を記念して、北海道内から全国都府県でのツアーコンサートを2年かかりで展開するようです。北海道公演を終え

る今年の7月下旬、どこどこい祭り「羽衣公園で主題歌発表を兼ねてライブコンサートを開きます」と言ってくれています。

菅原監督も大黒さんも、生まれ育った北海道から全国各地や海外に向かって元気発信をすることに深い応援心を持っておられ、その思いもあって実現するものです。「まさか」の大プレゼントになりそうです。

私たちは、この「まさか」を未来に向かって住民福祉向上を目指す「いやさか」へ変えることができる元年にしたいものです。「元氣と笑顔」溢れる1年でありますこと、皆さまの「いやさか」を心からご祈念申し上げます。



## 年頭のご挨拶

東川町議会議長 高橋 昭典

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、夢と希望にあふれた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

日頃より、議会にお寄せいただいておりますご支援とご理解に感謝申し上げます。

8月の一連の台風被害では、東川町においても大きな被害が発生しました。被災されました方々や農地等の土砂災害に対しまして心よりお見舞い申し上げますとともに、早急な復旧によ

り台風被害の影響が軽減されるよう迅速に行政と一体となって進めていきます。

昨年は国をあげて景気対策に取り組んだ1年でしたが、道内経済は依然として地域別や産業間で景況に差があり、先行きについては、原油価格の上昇や為替の動向に慎重な見方が強まっています。

顧みてわが町では、旧東小の改修を終え文化芸術交流センターとして10月より供給開始されました。この施設と一体化するような文

化施設の利用を目指し、地方創生推進交付金事業と連動させながら、新年度建設予定の写真首都創生館（図書館）計画を実施予定です。

懸案の家具・デザイン文化振興の織田コレクションの公有化は、平成27年1月より議論を重ね、平成28年8月、地方創生推進交付金において申請とおり5千万円が決定し、事業継続概ね5年間の支援が決まりました。

全員協議会等を重ね、公有化の財源措置は、町の直

接的な財源支出はしない、地方創生推進交付金や上部官庁の支援金、東川株主制度による寄付金を充て、総額3億円を年次計画で取得できるように検討しています。加えて、展示活用の方法やおよそ千三百点におよぶ収蔵品の維持管理含めた関係団体の方々の協議を進める予定です。

新たな潮流を先取りしつつ、地域の特性に基づいた独自の行政執行上の重要事項に適正で公平妥当な結論を求めていきます。議会においても、大きな変革期にあたり自ら課せられた責務の重さを感じつつ、力を尽くして取り組んでいきたいと思っております。